



これから沖縄県民はコロナとどう向き合うか

産業医 田名 毅
首里城下町クリニック

産業医だよりでは、毎月私のクリニックで行っている地域むけ医療講演会 YouTube 配信の内容を要約してお伝えしています。今月の地域むけ医療講演会は「これから沖縄県民はコロナとどう向き合うか」というタイトルで私が講演しました。以下にその要約を紹介します。

1. コロナの重症化…年齢 性別 持病 ワクチン接種 治療薬との関係

コロナにかかるて重症化しやすいのは、高齢(65才以上)、男性、そして持病がある方々です。透析患者さんを含む腎機能が悪い方々が含まれています。

重症化に関連する基礎疾患など（米国CDCまとめ）¹⁾

エビデンスレベル	高 重症化が高い	低	エビデンスレベル	高 重症化が高い	低
悪性腫瘍	・悪性腫瘍（血液腫瘍）		精神神経疾患	・気分障害 統合失調症 認知症	・薬物中毒
代謝疾患	・1型及び2型糖尿病 ・肥満（BMI≥30）	・肥満（25≤BMI<30）	運動不足	・運動不足	
心血管疾患	・脳血管疾患 ・心不全 ・虚血性心疾患 ・心筋症		妊娠	・妊娠・産褥	
呼吸器疾患	・間質性肺疾患 ・肺塞栓症 ・肺高血圧 ・気管支喘息 ・気管支拡張症 ・慢性閉塞性肺疾患 ・結核 ・囊胞性線維症	・高血圧症 ・気管支肺異形成	喫煙	・喫煙（現在および過去）	・基礎疾患のある小児
肝疾患	・肝硬変 ・非アルコール性脂肪肝 ・アルコール性肝障害 ・自己免疫性肝炎	・B型肝炎 ・C型肝炎	遺伝性疾病	・ダウン症候群 ・HIV感染症 ・臓器移植・幹細胞移植 ・ステロイド等の免疫抑制薬の投与 ・原発性免疫不全症候群	・a1-アンチトリプシン欠乏症 ・サラセミア
腎疾患	・慢性腎臓病（透析患者）		免疫不全		

1) 厚生労働省：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き第10.1版：9, 2024 CMT32O016D

そして、コロナで入院し亡くなってしまう方の特徴を調べたところ、高齢(65才以上)であることが非常に強く、基礎疾患については弱かったことも分かりました。



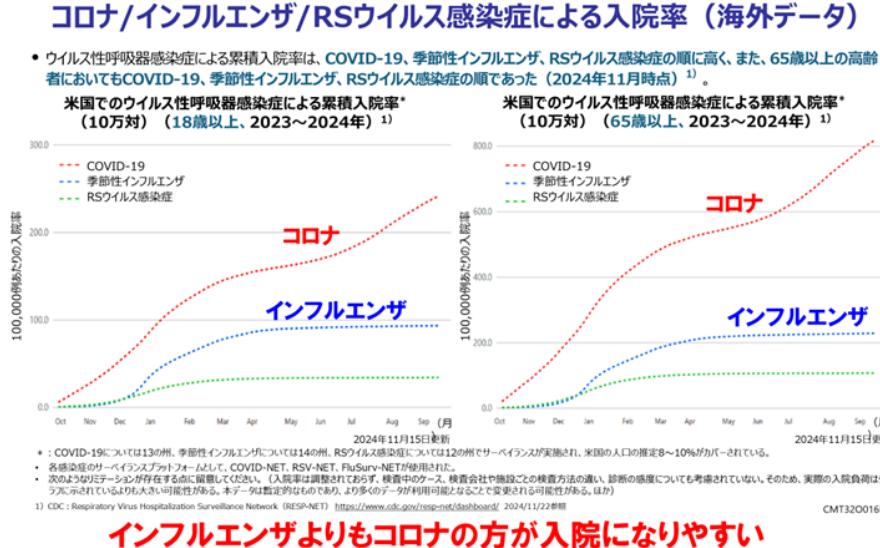
ワクチン未接種者は、男女とも接種した人と比べて重症化しやすいことがわかっています。危険因子（持病）が多いほどかかりやすいこともわかりました。当院で血液透析を受けている患者さんを対象に、この5年間のコロナ感染状況と治療について調べたところ、2022年～2024年の3年の罹患率は3割で、そのほとんどの患者さんにはラグブリオという治療薬を処方しました。そうすることで入院するケースは明らかに少なくなりました。

また、コロナワクチン接種と感染時期を確認したところ、接種から半年～1年経過した人たちが多く感染していたことが分かり、最終接種から半年以上経過するとコロナにかかりやすいことがわかりました。

2. コロナ感染とインフルエンザ感染

コロナに感染した人とインフルエンザに感染した人、どちらが入院になりやすいかをべたところ、年齢に関係なくコロナで入院する人が多かったことが示されています。

また、コロナによる累積死者数は、はじめに話したように、60歳代以降で高くなり高齢になるほど高いことが分かっています。



インフルエンザよりもコロナの方が入院になりやすい

これらを踏まえて、2024年秋冬から新型コロナワクチンの定期接種はこのような方針で行われることが決定しました。

令和6(2024)年度秋冬の新型コロナワクチン定期接種の方針

- 令和6(2024)年度以降は、65歳以上の方などを対象に新型コロナワクチンの定期接種を行う方針となっている。

＜実施時期¹⁾＞ 令和6(2024)年10月1日～令和7(2025)年3月31日
(自治体により上記の期間内で設定)

＜対象¹⁾＞ **・65歳以上の方**
・60～64歳で対象となる方※
※心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり
身の回りの生活が極度に制限される方
ヒト免疫不全ウイルス(HIV)による免疫の機能に障害があり
日常生活がほとんど不可能な方

注) 定期接種の対象者以外の方や、定期接種のタイミング以外で接種する場合については、
任意接種としてワクチンの接種を受けることができる。

1)厚生労働省 鮮度・生活衛生感染症対策室 予防接種課 新型コロナワクチンの定期接種等について 令和6年度第1回予防接種に関する自治体説明会(令和6年6月21日)より改変
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisaku/seisaku-10900000/10902665/09.pdf> 2024/11/22参照
CMT320016D

当院では、65歳以上の756名の方々にコロナワクチンを接種しました。

第一クリニック(外来) コロナワクチン接種人数
(2024～2025年度秋冬定期接種)



2. コロナの治療薬について

65歳以上の高齢者の方々、それ以下でも重症化のリスクが高い方々には服用するように勧めています。服用することで症状が明らかに早く良くなります。

課題は治療薬が高いことです。
一番安い薬でも、保険診療の

3割負担で15000円、2割負担で10000円、1割負担で5000円

コロナ治療薬は3種類

①治療の重症化予防が十分に検証されている薬

- コロナ禍で治療費の助成があったときは最も多く処方しました。
- 定期的に服用している薬との併用が可能か注意が必要。

②腎機能が悪い人（透析を受けている人）にも投与できる

- 当院の患者さんは、この薬により入院しなくて済んだ方々が多くなっています。

③日本で開発された薬、重症化予防の検証はこれから

- 一番安い薬で現在最も多く処方しています。
- 早く症状が楽になりましたと評判はいいです。
- 定期的に服用している薬との併用が可能か注意が必要。

かかりつけ医と相談して薬を決めてください。

3. 終わりに

①高齢者の方々は重症化することがあります。
コロナワクチンを接種しましょう。

②最終接種から半年以上経過すると、罹りやすくなります。
ワクチンをいつ接種したか、覚えておくようにしましょう。

③コロナ治療薬は高いですが効果があります。
症状がきつい場合、高齢者の方々、重症化しやすい病気をもっている方々は服用を検討しましょう。

これらのことと、主治医と十分に情報交換、意見交換しながらこれからもコロナとしっかり向き合っていきましょう。



第256回 首里城下町クリニック地域むけ医療講演会

テーマ：『新しい高血圧ガイドラインからのメッセージ』

日時：令和7年10月8日（水） 午後7時配信予定

講師：琉球大学病院第三内科



YouTube 配信

腎・高血圧グローバル教育支援機構健康管理部門

所長・教授 崎間 敦 先生

その他クリニックに関しては HP をご覧ください <http://www.shuri-jc.jp>

首里城下町クリニック『働く人健康支援室』は、



産業医・内科医
高血圧が専門です
田名 敦

あなたの 健康相談窓口 です！



保健師・産業カウンセラー
キャリアカウンセラー CDA
公認心理士 田名彩子

相談窓口

産業医は、あなたの職場とそこで働く人々の心とからだの健康を支援します。



保健師・産業カウンセラー
キャリアカウンセラー CDA
與儀雅代

★訪問日を設けている事業所の職員は、お気軽に訪問日をご活用下さい。

★クリニック内の『働く人健康支援室』では健康相談を行っています。

診療との調整が必要です。事前にお電話の上、いらしてください。

“産業医や保健師と面談希望”とお話しください。

★診察や検査の必要がない限りは無料です。

★その他、電話やメール相談も隨時行っています。



連絡先

首里城下町クリニック 働く人健康支援室
098-885-5000

携帯 080-4312-9200(田名彩子)
メール sien@sjc.dr-clinic.jp(働く人健康支援室)

プライバシーは守ります。
お気軽にご利用下さい！